

呼吸器・アレルギー医療センター 臨床評価指標《基本情報》

項目	平成20年度 数値	平成21年度 数値	平成22年度 数値	単位	収集期間	定義	備考
【入 院】							
稼働病床数	500	500	475	床	平成22年 度		実際に使用している入院ベッドの数です 病棟工事のため平成22年7月1日より475床
新入院患者数	7,492	7,492	7,987	人	平成22年 度		1年間に入院された患者さんの数です
延べ入院患者数	146,931	146,931	143,499	人	平成22年 度		入院された患者さんの数の1年間の累計です
1日平均入院患者数	403	403	393	人	平成22年 度	延べ入院患者数/365	1日平均、何人の患者さんが入院されているかを示しています
退院患者数	7,483	7,483	8,022	人	平成22年 度	期間中の退院患者数	1年間に退院された患者さんの数です
年齢階層別退院患者数(※1)			別紙1参照		平成22年 度	※退院時点の年齢で集計	退院患者さんの年齢の特徴を示しています
主要疾患別患者数(※2)			別紙2参照		平成22年 度	※原則としてICD3析分類の上位20疾患とする	
疾病分類別患者数(※3)			別紙3参照		平成22年 度		主にどのような病気を扱う病院かを示しています
診療圏別退院患者数(※4)			別紙4参照		平成22年 度	府下を11ブロックに分けて集計	どの地域から、どのような病気で受診されているかを示しています
病床利用率 (全体)	76.9	79.9	81.7	%	平成22年 度		病床数に対して、どれだけの方が利用したかを表し、1年間に平均してどれだけベッドを利用したか示しています
(一般)	77.8	80.0	83.0				
(結核)	72.8	79.4	77.1				
平均在院日数 (全体)	19.6	18.7	17.4	日	平成22年 度	延べ患者数-退院患者数+1日入院数/(新入院患者数+退院患者数) ÷2	急性疾患を取り扱うのか、慢性疾患を取り扱うのか、病院の特徴を示します。慢性疾患の患者さんが多いと在院日数が長くなります
(一般)	16.9	15.8	14.1				
(結核)	67.0	66.6	72.0				
病床回転率 (全体)	14.3	15.6	17.1	回	平成22年 度	(病床利用率/100)×365/平均在院日数	空きベッドの数も考慮して計算された、入院ベッドの利用効率を示します。慢性疾患の患者さんが多いと回転率は下がります
(一般)	16.8	18.5	21.5				
(結核)	4.0	4.4	3.9				
入院外来比率	106.9	97.4	17.6	%	平成22年 度	延べ外来患者数/延べ入院患者数×100	入院加療を中心とする病院か、外来診療を中心とする病院かという特徴を示します
予定しない再入院率	-	-	-	%	平成22年 度	退院後一ヶ月以内に同一の疾患で予定していない再入院患者数/退院患者数×100	
退院患者中の褥創(Ⅱ度以上)の院内発生率	-	-	-	%	平成22年 度		
退院計画立案率	74.2	77.9	78.3	%	平成22年 度		
退院サマリー完成率	82.1	82.8	74.7	%	平成22年 度		

【外 来】

新外来患者数	10,645	11,199	11,156	人	平成22年度	初診料を算定した外来患者数＋他科の初診患者数(入院中の外来初診を含む)	新に外来受診された患者さんの数です
延べ外来患者数	162,100	143,128	140,442	人	平成22年度		外来受診された患者さんの数の1年間の累計です
平均通院回数	15.2	12.8	12.6	日	平成22年度	延べ外来患者数/新外来患者数	ひとりの患者さんが1年間に何回通院されたかを示しています
1日平均外来患者数	667.1	591.4	578.0	人	平成22年度	延べ外来患者数/診療日数	1日に平均何人、受診されたかを示しています
紹介率	53.8	53.1	53.6	%	平成22年度		外来患者さんのうち、紹介されてこられる方の割合です。普段のかかりつけというような一次医療が中心か、専門的な病院かを示します
逆紹介率	45.8	43.1	56.1	%	平成22年度		逆にこの病院から他病院への紹介の割合です
救急車搬送患者数救	751	818	750	人	平成22年度	・救急車で搬送された全ての患者で再診患者、外泊患者等を含む。 ・医療機関に所属する救急自動車(ドクターカー:自院、他院を含む。)	救急車で搬送された患者さんの数です
初診予約率	-	-	-	%	平成22年度	予約があった初診患者数/初診患者数	外来の予約制がどの程度浸透しているかを示します

【死亡患者】

死亡退院数	357	379	366	人	平成22年度		当センターで一年間に死亡された患者さんの数です
粗死亡率	5.0	5.1	4.6	%	平成22年度	死亡患者数/退院患者数	当センターに入院した患者さんの死亡の割合です。高度な医療を提供する病院では重症の患者さんを取り扱うことも多いので、この数字は高くなりま
精死亡率	-	4.8	4.3	%	平成22年度	全死亡患者数-入院後48時間以内死亡/退院患者数	入院して48時間以内の死亡は、病院内での診療を反映しないことも多いので、この死亡を除いた上での死亡率です。しかしながら、上記と同様に、高
剖検数	13	7	7	件	平成22年度		「剖検」とは病理学的な解剖のことで、死亡した患者さんの死亡原因を詳しく調べる検査です。剖検数が多い病院は死亡原因解明のためにしっかりと取り組んでいるということも示しますが、ご遺族にとって複雑な思いを喚起させる検査でもあり、解釈には注意が必要です
剖検率	3.6	1.8	1.9	%	平成22年度	「日本内科学会認定医制度認定教育施設=剖検数3例以上」 剖検数/死亡退院患者数×100	

【手 術】

施設基準に掲げる手術件数(※4)	283	158	355	件	平成22年度	医科点数表第2表第10部手術の通則の5及び6に掲げる手術の件数(平成21年1月から12月までの件数)	難易度及び診療報酬上の点数単価が高い手術について、1年間に実施した件数です。
入院手術件数	1,202	1,360	1,500	件	平成22年度		1日以上入院して実施された手術の件数です
日帰り手術患者数	18	28	91	件	平成22年度	※ここでの日帰り手術患者数は、入院基本料を算定しており、手術施行した患者で在院日数1日の患者数をいう。	日帰りで実施された手術の件数です
全身麻酔件数	531	598	590	件	平成22年度		
硬膜外併用脊髄くも膜下麻酔	78	98	126	件	平成22年度		
硬膜外麻酔	353	320	489	件	平成22年度		
脊髄くも膜下麻酔	144	270	159	件	平成22年度		
伝達麻酔	437	485	3	件	平成22年度		
その他の麻酔	0	0	640	件	平成22年度		

【医療安全】

医療事故発生件数	3b=6	3b=5	3b=3	件	平成22年度	公表基準による医療事故(レベル3b以上)の年間件数 レベル3b:濃厚な処置や治療を要した事例	医療に関する透明性を高めるため、府立5病院では、共通の公表基準にもとづき、医療事故を公表しています
----------	------	------	------	---	--------	---	---

【その他】

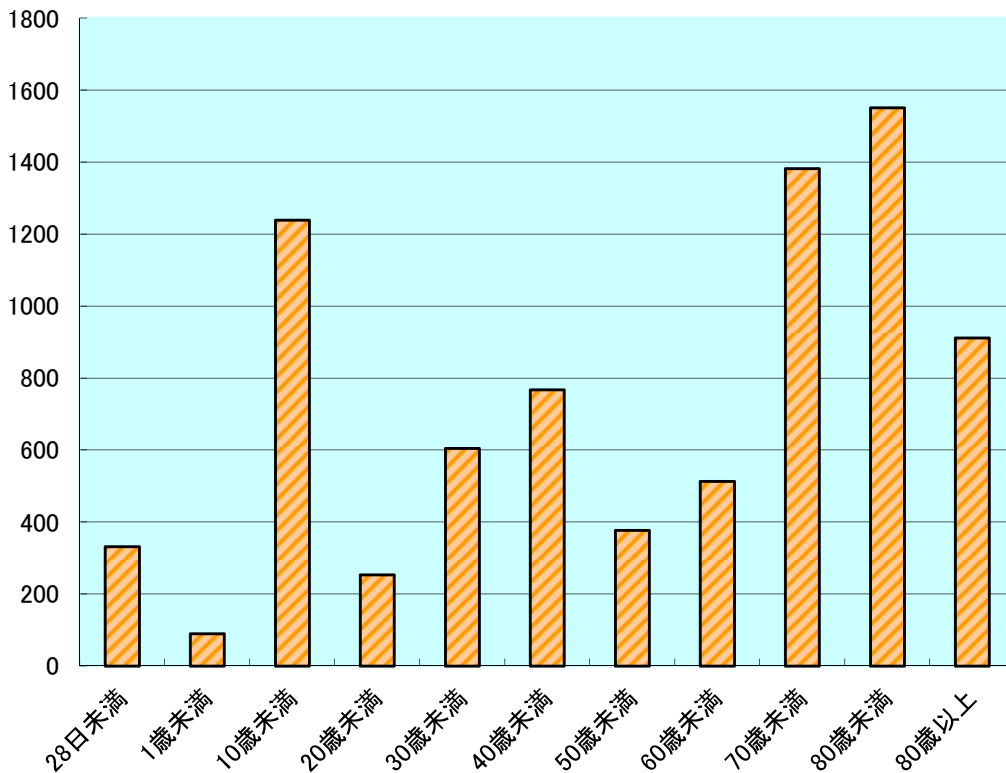
研修医受入れ人数	3	4	2	人	平成22年度	各月1日における人数の平均 <管理型臨床研修病院>	病院として、医師の教育に積極的に取り組んでいるかを示しています
レジデント受入れ人数	9	4	3.5	人	平成22年度	各月1日における人数の平均	
指導医数	47	47	47	人	平成22年4月現在	※指導医は、臨床研修病院の基準にあるように、5年以上の臨床経験を有するものであって、プライマリケアを中心とした指導を行うこと	
医療相談件数	7,151	2,413	4,274	件	平成22年度	医療相談室等で受けた相談件数(医療相談の専任者が実施する場合を含む)	専門の職員による医療や社会保障制度等に関する相談、支援の体制を示しています
医療相談件数のうち医療ソーシャルワーカーが受けた件数	7,151	2,413	4,274	件	平成22年度	1援助のべ件数	
セカンドオピニオン件数	15	10	13	件	平成22年度	新規相談件数	肺腫瘍、肺炎腫、非感染性呼吸器疾患を対象としています
患者対看護職員数	7対1	7対1	7対1		平成22年度	看護体制(一般病棟)	看護体制の充実度を示しています
	15対1	15対1	10対1		平成22年度	看護体制(結核病棟)	結核病棟は平成22年5月1日より10対1となりました
認定看護師数	4	3	4	人	平成22年度	日本看護協会が定める認定看護師の有資格者数(H22.3.31現在)	
専門看護師数	4	2	3	人	平成22年度	日本看護協会が定める専門看護師の有資格者数(H22.3.31現在)	
継続看護の実施件数	556	663	709	件	平成22年度	在宅療養指導料算定患者数。B001-13(170点)を算定した延べ件数	在宅での療養支援に積極的に取り組んでいるかを示しますが、病院の扱う疾患の特徴にも左右されます
大阪府立看護大学大学院非常勤講師	1	1	1	人	平成22年度		
実務実習認定薬剤師	4	4	4	人	平成22年度	日本病院薬剤師会が定める長期実務実習指導薬剤師の有資格者	薬学部の子生の薬局業務についての実務実習を指導します
院外処方箋率	89.4	89.6	90.7	%	平成22年度	院内処方箋枚数/外来処方箋枚数	医薬分業に積極的に取り組んでいるかを示しています。ただし、まれな疾患にしか使わない薬を多く処方される病院もあります
診療情報の開示件数	12	12	10	件	平成22年度	年間の総開示件数	
治験新規契約件数	8	6	22	件	平成22年度	※「治験契約件数」はプロトコル数。また、新規契約と以前からの契約件数(複数年度契約の場合)を合計した数【DPC研究班定義】	臨床試験に積極的に取り組み、新しい治療法、新薬の開発に貢献しているかを示しています
クリニカルパス種類数	56	60	89	種	平成22年度		
クリニカルパス適用率	27.3	33.6	41.5	%	平成22年度	クリニカルパス適用患者数/新入院患者数	医療の標準化に積極的に取り組んでいるかを示しています。ただし、高度な医療を提供する病院では適用が難しい場合も多々あります
放射線治療件数	4,933	4,883	4,326	件	平成22年度		
CT撮影件数	10,568	9,840	10,076	件	平成22年度		
MRI撮影件数	1,537	1,566	1,647	件	平成22年度		
病院職員のインフルエンザワクチン接種率	79.2	86.6	88.0	%	平成22年度		
職員の健診受診率	94.4	91.2	95.2	%	平成22年度		

※1 年齢階層別退院患者数

年齢階層	退院患者数	(うち死亡患者数)
28日未満	332	0
1歳未満	90	0
10歳未満	1239	0
20歳未満	253	0
30歳未満	605	0
40歳未満	768	4
50歳未満	377	7
60歳未満	513	31
70歳未満	1382	95
80歳未満	1551	137
80歳以上	912	92
合計	8,022	366

※年齢は退院時年齢

年齢階層別退院患者の状況



※2 主要疾患別退院患者数

	ICD-10	3桁分類項目	主な病名	退院患者数	うち死亡数
1	C34	気管支および肺の悪性新生物	肺癌	1260	179
2	T78	有害作用、他に分類されないもの	食物アレルギー	792	0
3	A15	呼吸器結核	肺結核	395	29
4	J46	喘息発作重積状態	喘息発作	356	1
5	H25	老人性白内障	白内障	329	0
6	J45	喘息	アレルギー性喘息	248	1
7	J18	肺炎、病原体不詳	肺炎	217	2
8	J44	その他の慢性閉塞性肺疾患	慢性閉塞性肺疾患(COPD)	151	10
9	J15	細菌性肺炎、他に分類されないもの	細菌性肺炎	138	9
10	L20	アトピー性皮膚炎	アトピー性皮膚炎	136	0
11	J84	その他の間質性肺疾患	間質性肺疾患	130	16
12	J93	気胸	気胸	116	1
13	G47	睡眠障害	睡眠無呼吸症候群	113	0
14	P22	新生児の呼吸窮<促>迫	新生児一過性多呼吸(TNN)	110	0
15	A31	その他のマイコバクテリアによる感染症	肺非定型抗酸菌症	109	15
16	C56	卵巣の悪性新生物	卵巣癌	97	5
17	O62	娩出力の異常	陣痛微弱	94	0
18	O42	前期破水	前期破水	86	0
19	I50	心不全	慢性心不全	82	14
20	O68	胎児ストレス[仮死]を合併する分娩	胎児徐脈	77	0
合 計				5036	282

※3 疾病分類別患者数・平均在院日数

	分類	患者数	うち死亡数	平均在院日数
I	感染症及び寄生虫症(A00-B99)	713	61	46.5
II	新生物(C00-D48)	1,891	219	23.9
III	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害(D50-D89)	26	0	17.5
IV	内分泌、栄養および代謝疾患(E00-E90)	31	1	9.1
V	精神および行動の障害(F00-F99)	12	0	7.5
VI	神経系の疾患(G00-G99)	121	0	3.9
VII	眼および付属器の疾患(H00-H59)	380	0	9.7
VIII	耳および乳様突起の疾患(H60-H95)	4	0	5.3
IX	循環系の疾患(I00-I99)	211	21	20.5
X	呼吸系の疾患(J00-J99)	1,889	60	19.6
X I	消化系の疾患(K00-K93)	109	1	10.7
X II	皮膚および皮下組織の疾患(L00-L99)	220	0	20.9
X III	筋骨格系および結合組織の疾患(M00-M99)	67	1	11.2
X IV	尿路生殖系の疾患(N00-N99)	136	1	8.9
X V	妊娠、分娩および産褥(O00-O99)	976	0	6.3
X VI	周産期に発生した主要病態(P00-P96)	326	0	7.3
X VII	先天奇形、変形、および染色体異常(Q00-Q99)	12	0	6.6
X VIII	症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見(R00-R99)	56	1	9.3
X IX	損傷、中毒およびその他の外因の影響(S00-T98)	841	0	2.0
X X	傷病および死亡の外因(V01-Y98)	0	0	0.0
X X I	健康状態に影響を及ぼす要因および保健サービスの利用(Z00-Z99)	1	0	15.0
	合 計	8,022	366	17.8

※4 主要疾病別・診療圏別退院患者数

基本分類項目(ICD-10準拠)	大阪市	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	他府県	合計
1. 感染症及び寄生虫症(A00-B99)	191	5	1	14	148	226	50	26	52	713
2. 新生物(C00-D48)	175	8	2	14	365	1,177	65	5	80	1,891
3. 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害(D50-D89)	1	0	0	1	3	15	3	0	3	26
4. 内分泌, 栄養及び代謝疾患(E00-E90)	8	0	0	1	2	18	2	0	0	31
5. 精神及び行動の障害(F00-F99)	0	0	0	0	0	9	2	1	0	12
6. 神経系の疾患(G00-G99)	4	0	0	0	11	97	6	0	3	121
7. 眼及び付属器の疾患(H00-H59)	7	0	0	3	8	353	6	2	1	380
8. 耳及び乳様突起の疾患(H60-H95)	0	0	0	0	1	3	0	0	0	4
9. 循環器系の疾患(I00-I99)	10	0	0	1	17	177	3	1	2	211
10. 呼吸器系の疾患(J00-J99)	219	4	2	21	302	1,106	128	44	63	1,889
11. 消化器系の疾患(K00-K93)	3	0	0	0	12	84	6	2	2	109
12. 皮膚及び皮下組織の疾患(L00-L99)	27	8	2	6	18	77	25	15	42	220
13. 筋骨格系及び結合組織の疾患(M00-M99)	18	0	0	0	6	37	6	0	0	67
14. 尿路性器系の疾患(N00-N99)	4	0	0	1	18	108	0	1	4	136
15. 妊娠, 分娩及び産褥(O00-O99)	45	4	2	8	56	767	35	4	55	976
16. 周産期に発生した病態(P00-P99)	11	1	1	1	20	254	9	3	26	326
17. 先天奇形, 変形及び染色体異常(Q00-Q99)	0	0	0	0	0	11	0	0	1	12
18. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの(R00-R99)	11	0	0	0	8	32	4	0	1	56
19. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響(S00-T98)	107	5	11	16	107	342	141	25	87	841
20. 傷病及び死亡の外因(V01-Y98)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用(Z00-Z99)	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
合計	841	35	21	87	1,102	4,894	491	129	422	8,022
構成比率 (%)	10.5%	0.4%	0.3%	1.1%	13.7%	61.0%	6.1%	1.6%	5.3%	100.0%
(参考)平成21年度 合計	734	34	18	84	1,087	4,483	442	144	457	7483

※5 施設基準に掲げる手術件数
(医科点数表第2章第10部手術の通則の5及び6に掲げる手術)

呼吸器C

区分1に分類される手術		平成20年	平成21年	平成22年
ア	頭蓋内腫瘍摘出術等	0	0	0
イ	黄斑下手術等	2	3	1
ウ	鼓室形成手術等	0	0	0
エ	肺悪性腫瘍手術等	210	109	257
オ	経皮的カテーテル心筋焼灼術	0	0	4

区分2に分類される手術		平成20年	平成21年	平成22年
ア	靭帯断裂形成手術等	0	0	0
イ	水頭症手術等	0	0	0
ウ	鼻副鼻腔悪性腫瘍手術等	0	0	0
エ	尿道形成手術等	0	0	0
オ	角膜移植術	0	0	0
カ	肝切除術等	1	3	13
キ	子宮附属器悪性腫瘍手術等	10	9	14

区分3に分類される手術		平成20年	平成21年	平成22年
ア	上顎骨形成術等	0	0	0
イ	上顎骨悪性腫瘍手術等	0	0	0
ウ	バセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)	0	0	0
エ	母指化手術等	0	0	0
オ	内反足手術等	0	0	0
カ	食道切除再建術等	0	0	0
キ	同種腎移植術等	0	0	0

その他の区分に分類される手術		平成20年	平成21年	平成22年
4	人工関節置換術	0	0	0
5	乳児外科施設基準対象手術	0	0	0
6	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	22	10	42
7	冠動脈、大動脈バイパス移植術(人工心肺を使用しないものを含む。)及び体外循環を要する手術	0	0	0
8	経皮的冠動脈形成術、経皮的冠動脈粥腫切除術及び経皮的冠動脈ステント留置術	38	24	24

※1 手術件数は、平成22年1月から同年12月までの1年間の実績

355